

放送政策に関する調査研究会 第4回会合資料

民放の経営状況について

2013.02.27

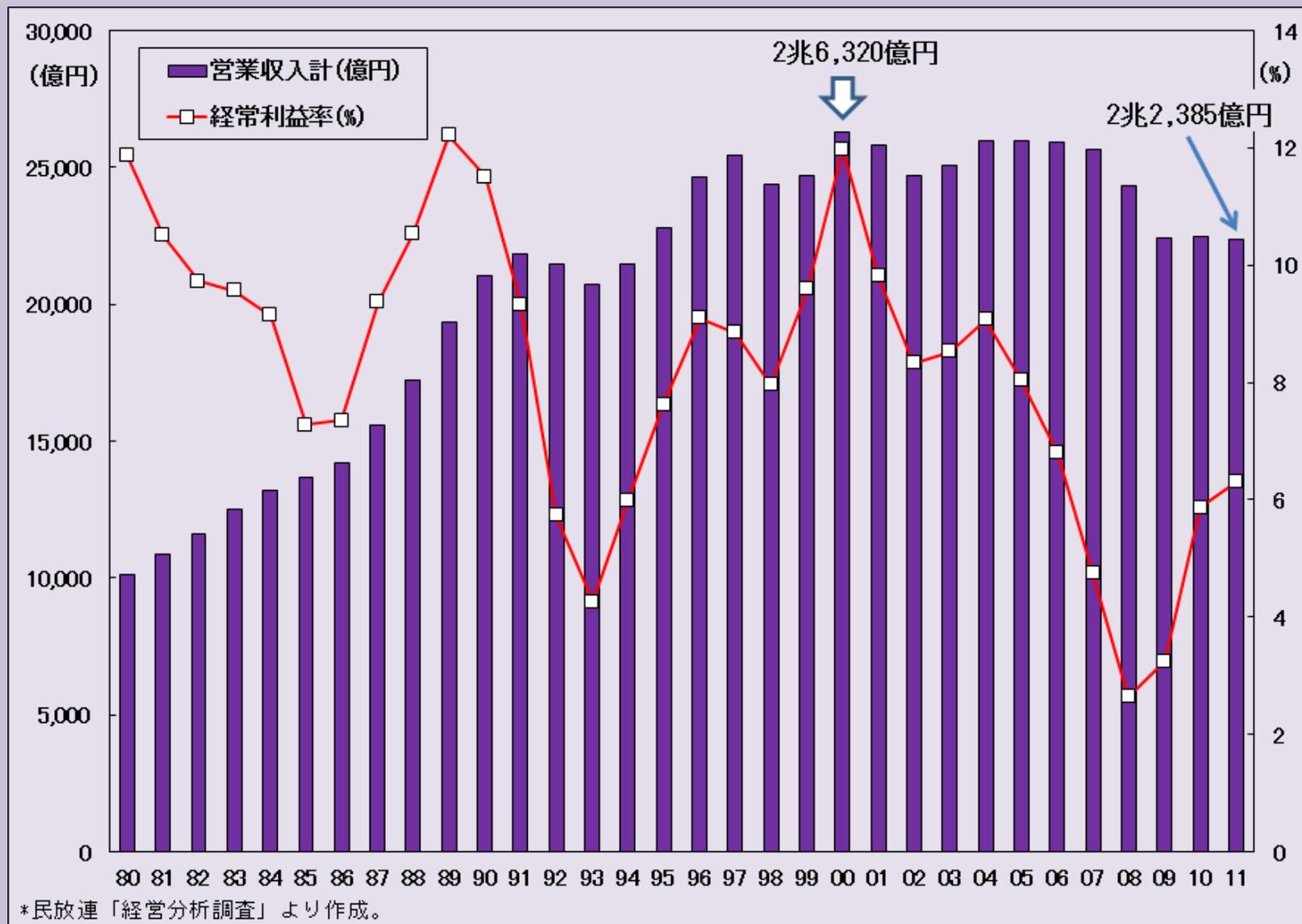
日本民間放送連盟/研究所
木村 幹夫

目次

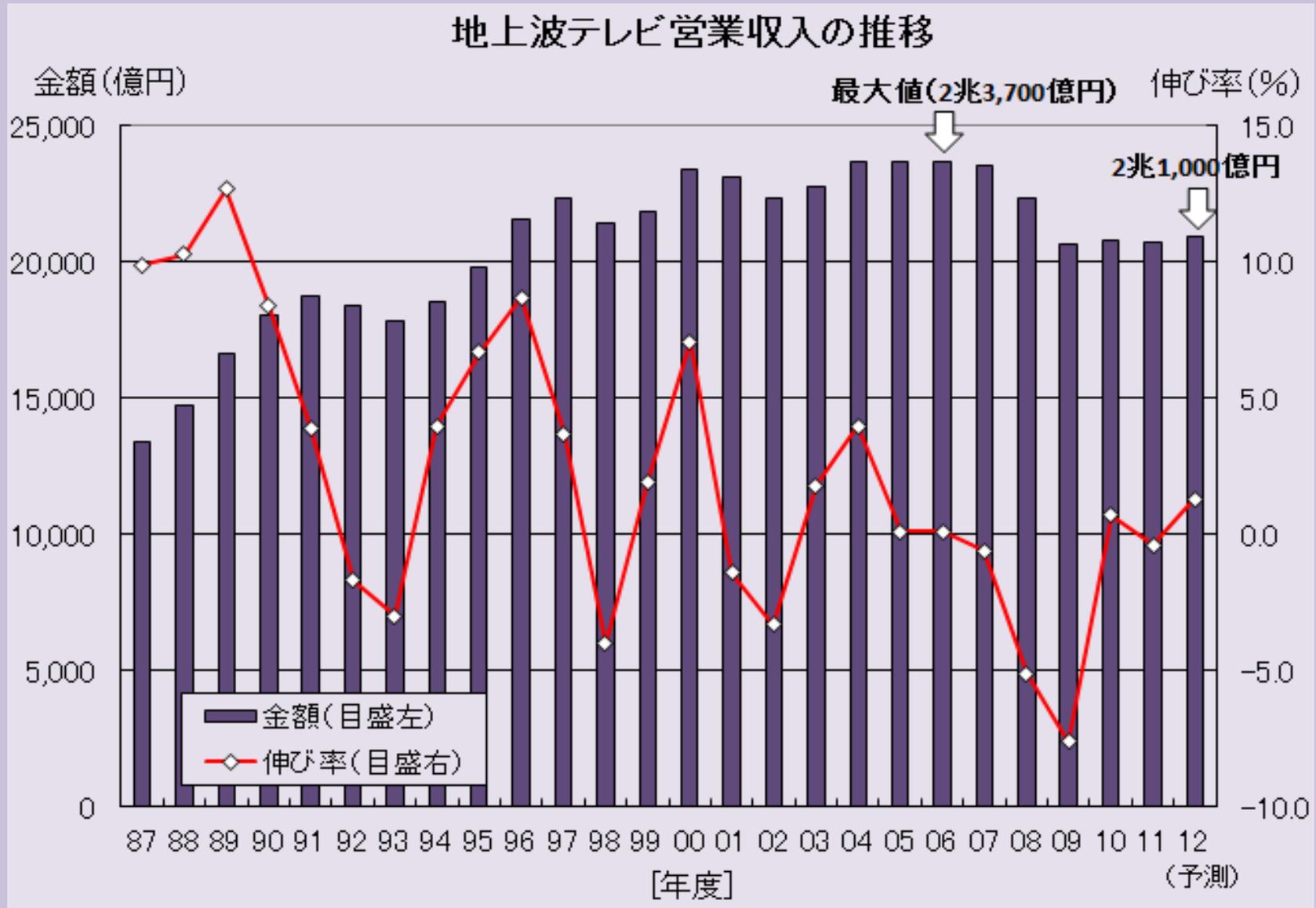
- I .民放売上の推移と現況
- II .民放財務指標の推移と現況
- III . 中期的な将来見通し

I .民放売上の推移と現況

過去30年間の地上民放の売上高、経常利益率

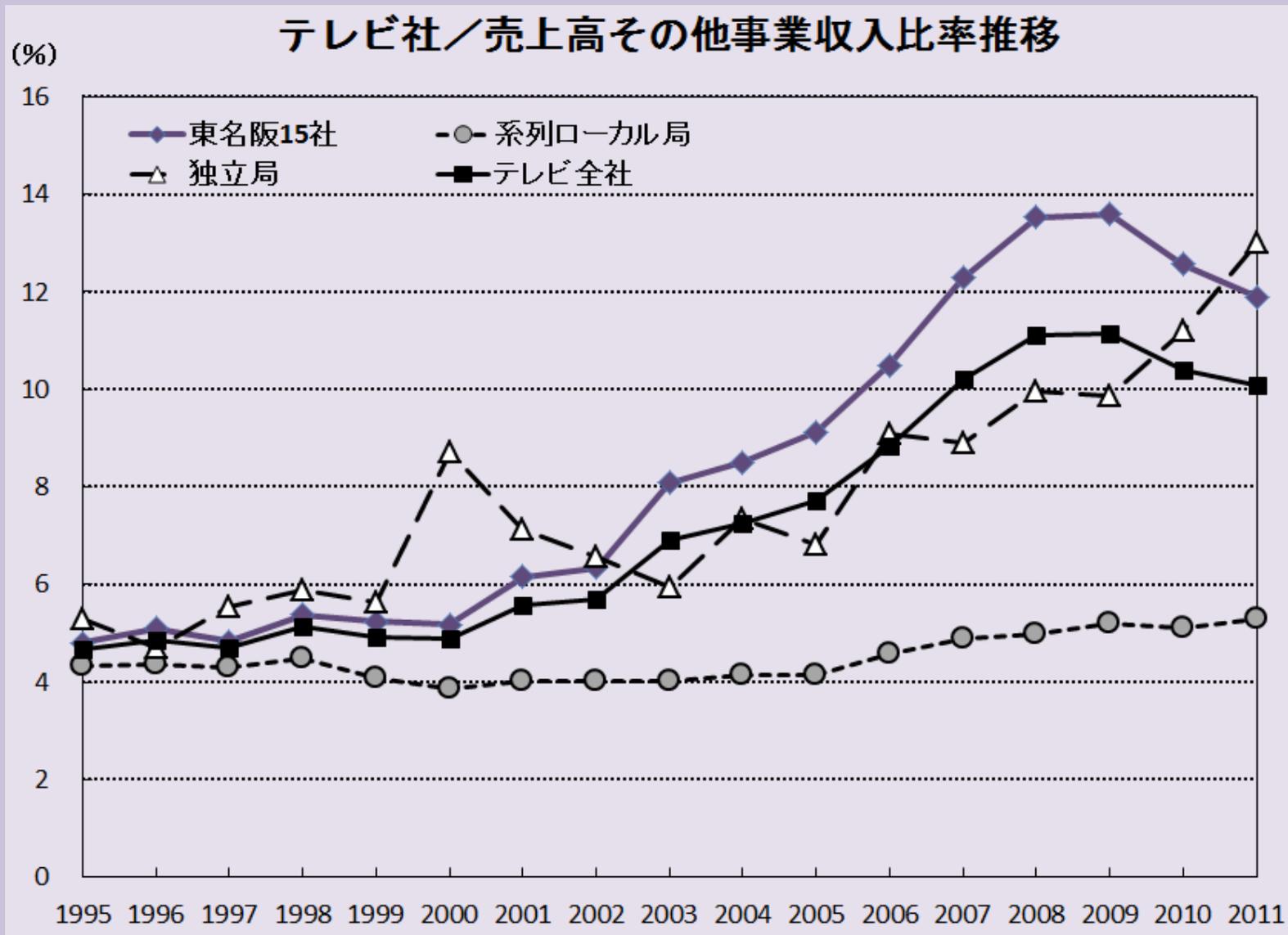


テレビはピーク時の約90%、前年比は低下トレンド



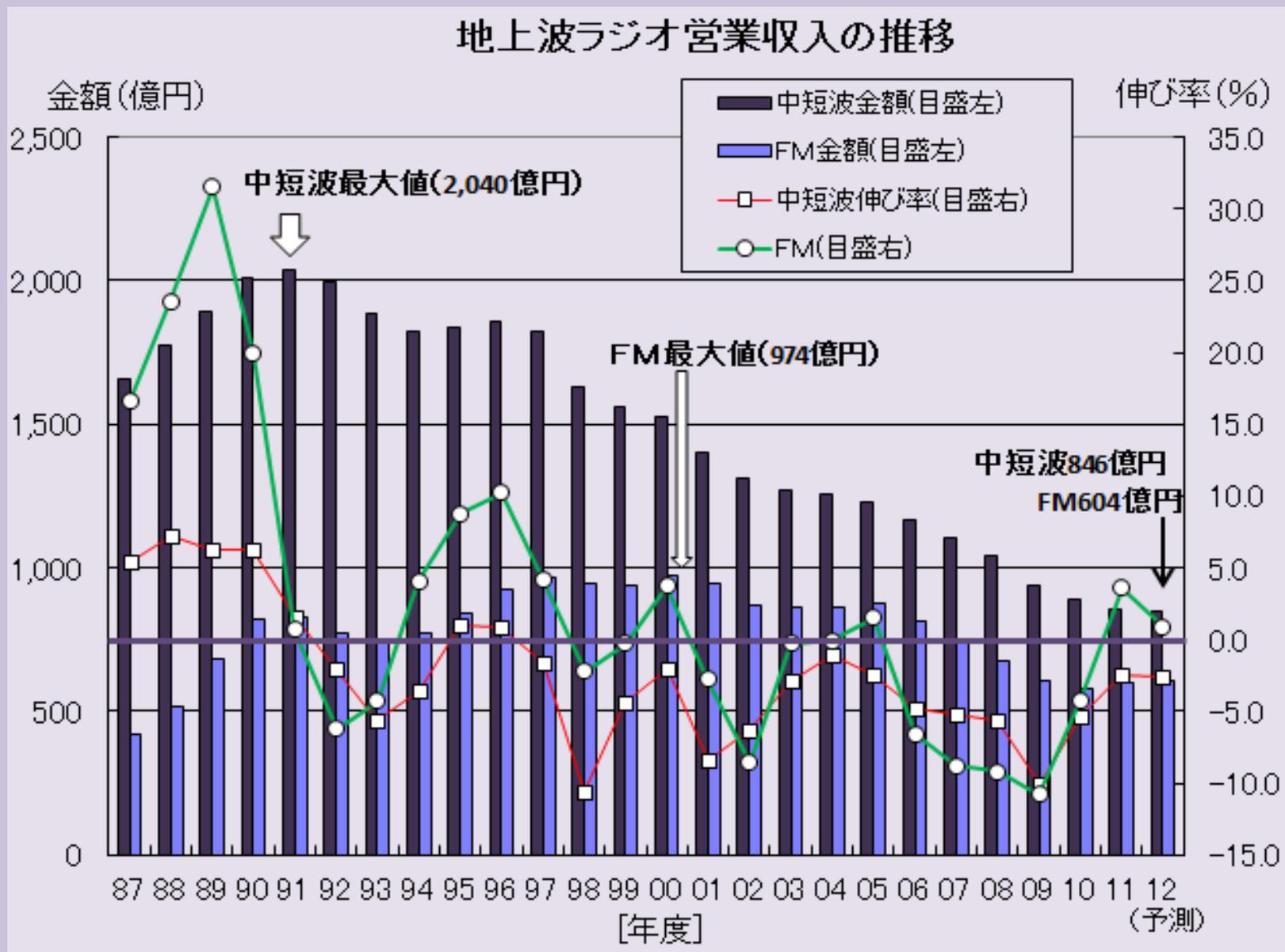
*民放連「経営分析調査」より作成。

最近、注目されているその他事業は・・・



*民放連「経営分析調査」より作成。

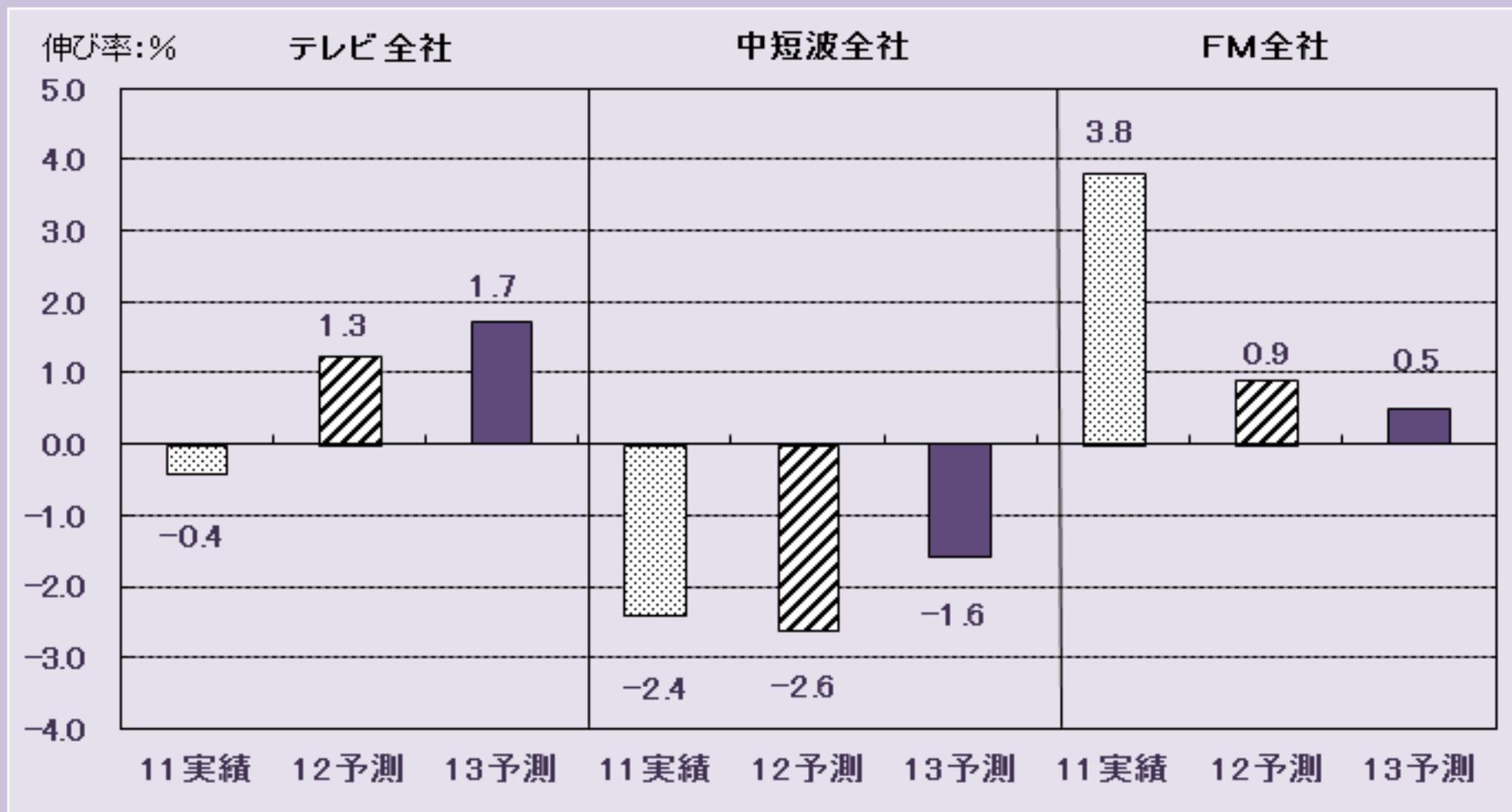
中短波はピーク時の41%、FMは62%



* 民放連「経営分析調査」より作成。

テレビとFMは足元で微増傾向

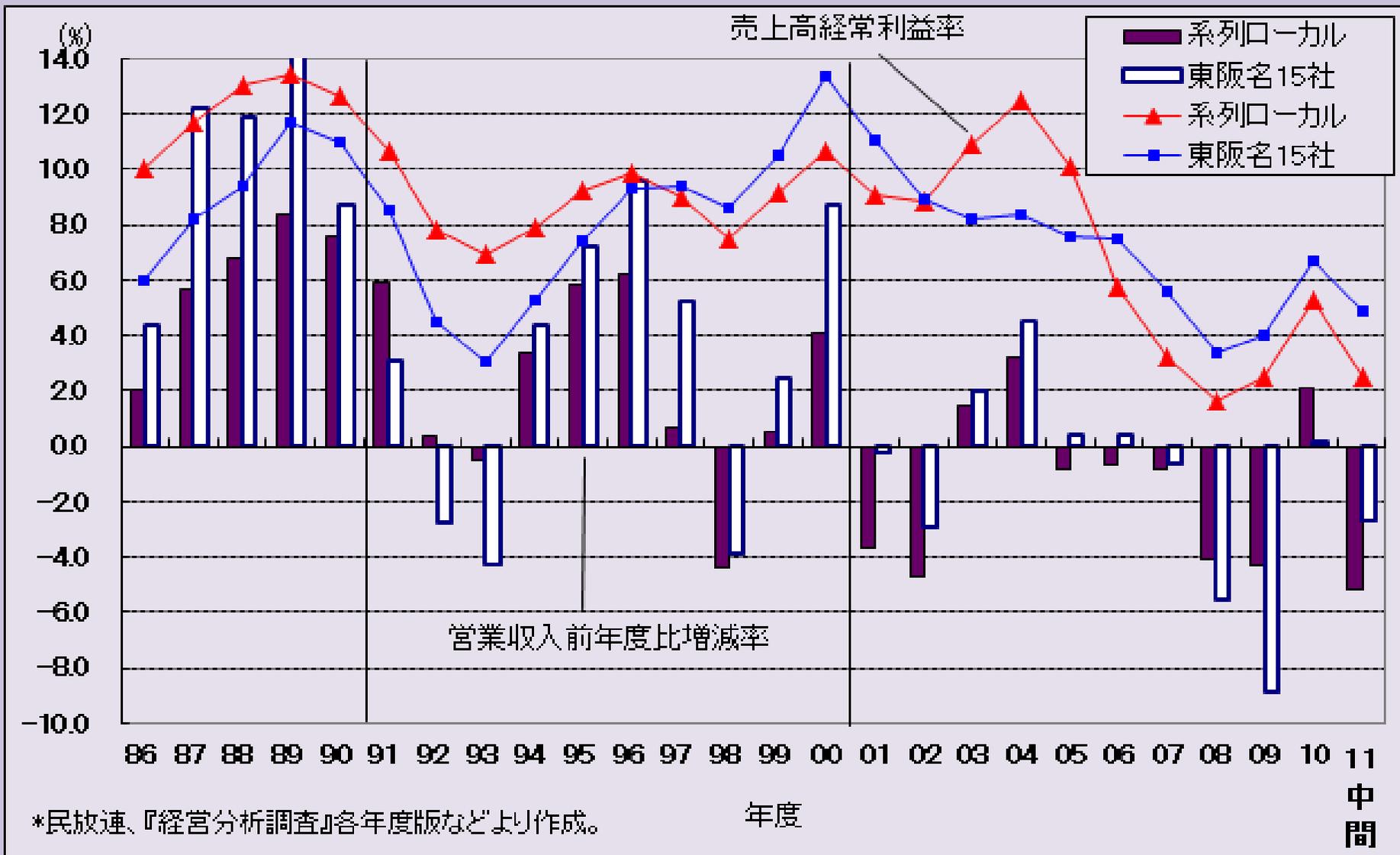
テレビ、ラジオ営業収入の短期予測



* 民放連研究所「2013年度のテレビ、ラジオ営業収入見通し」より。

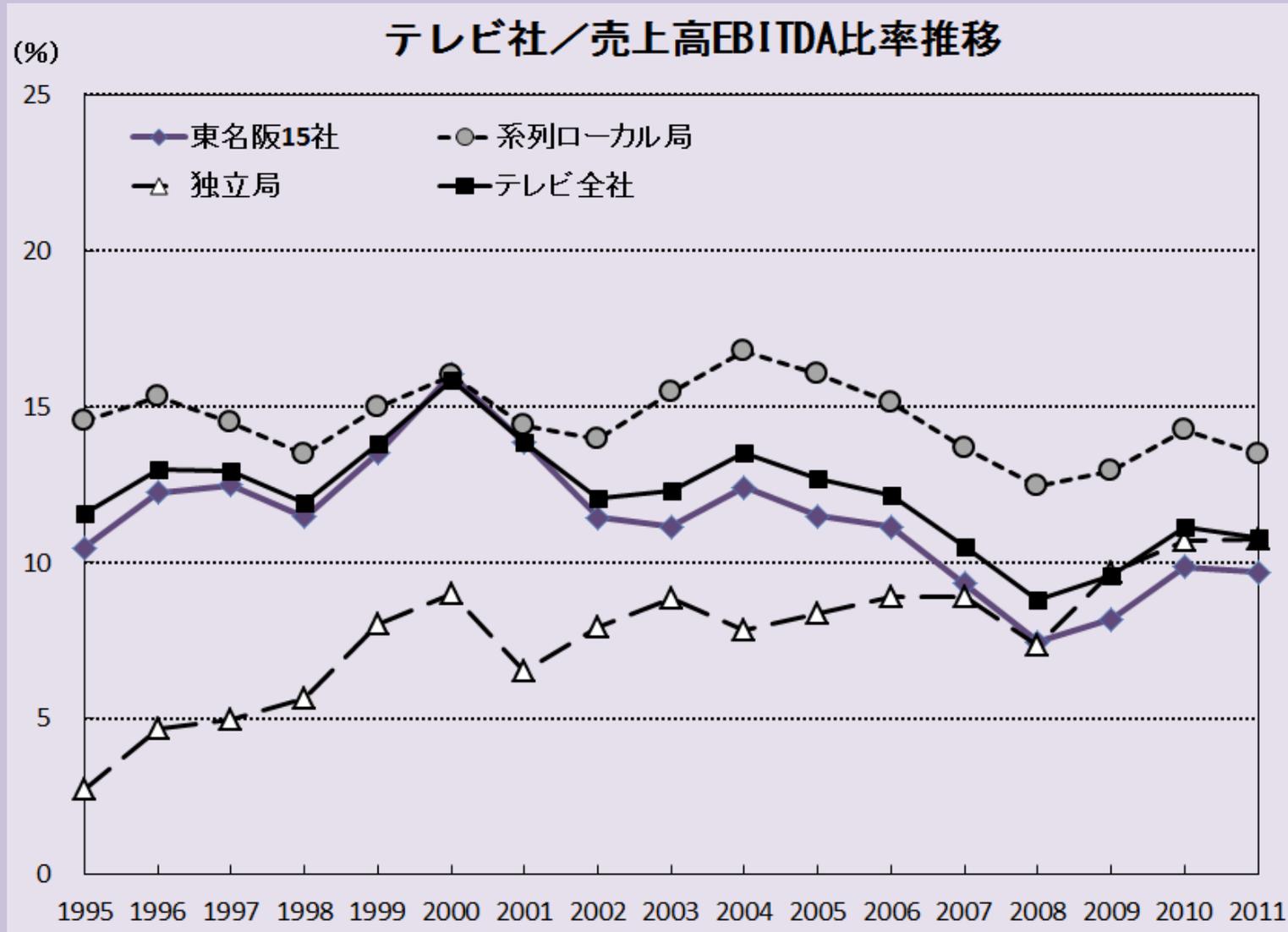
Ⅱ.民放財務指標の推移と現況

東阪名とローカルの利益水準は逆転



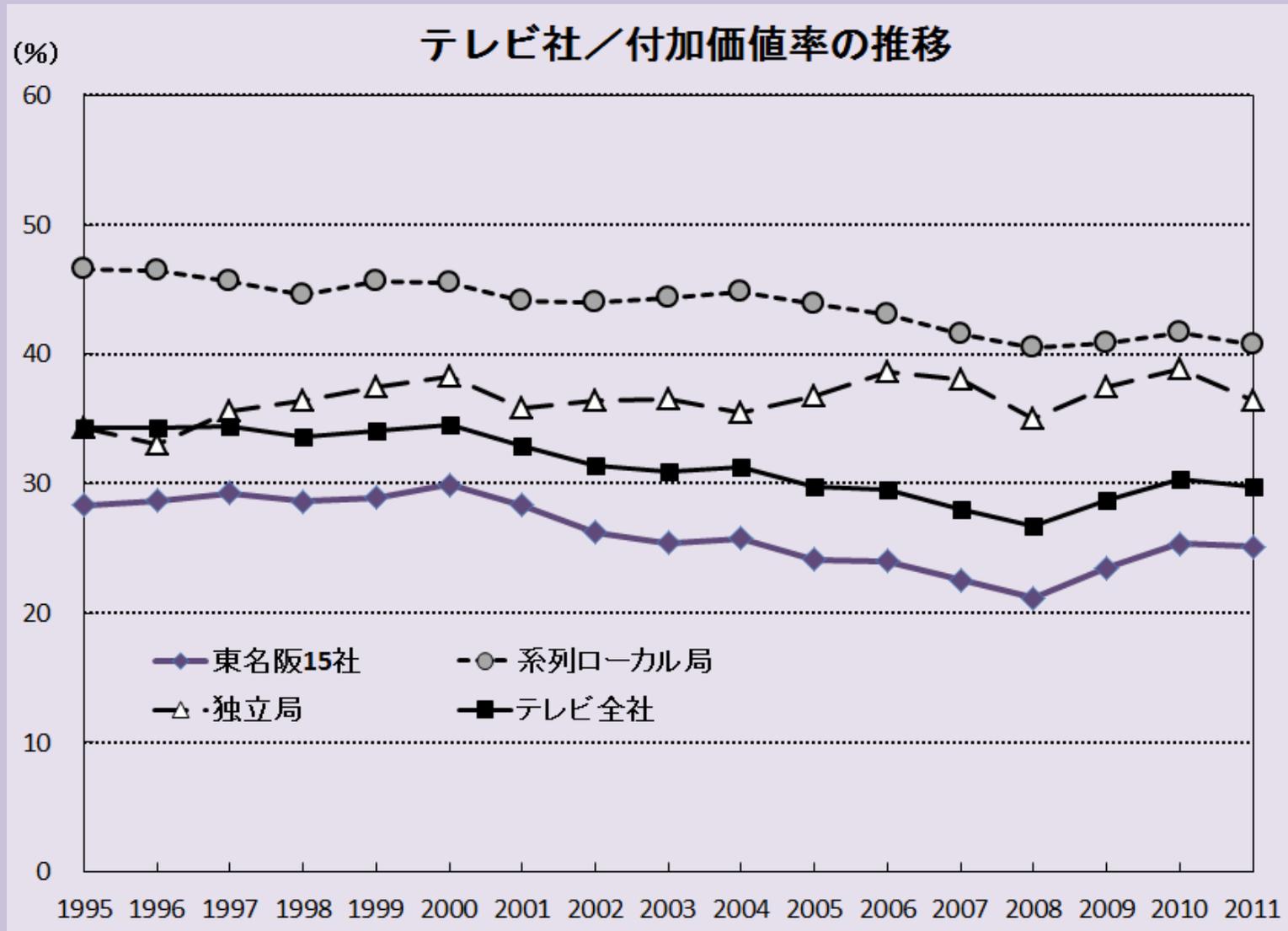
地デジ化の影響は？

減価償却費増の影響を排除しても利益は若干の低下傾向



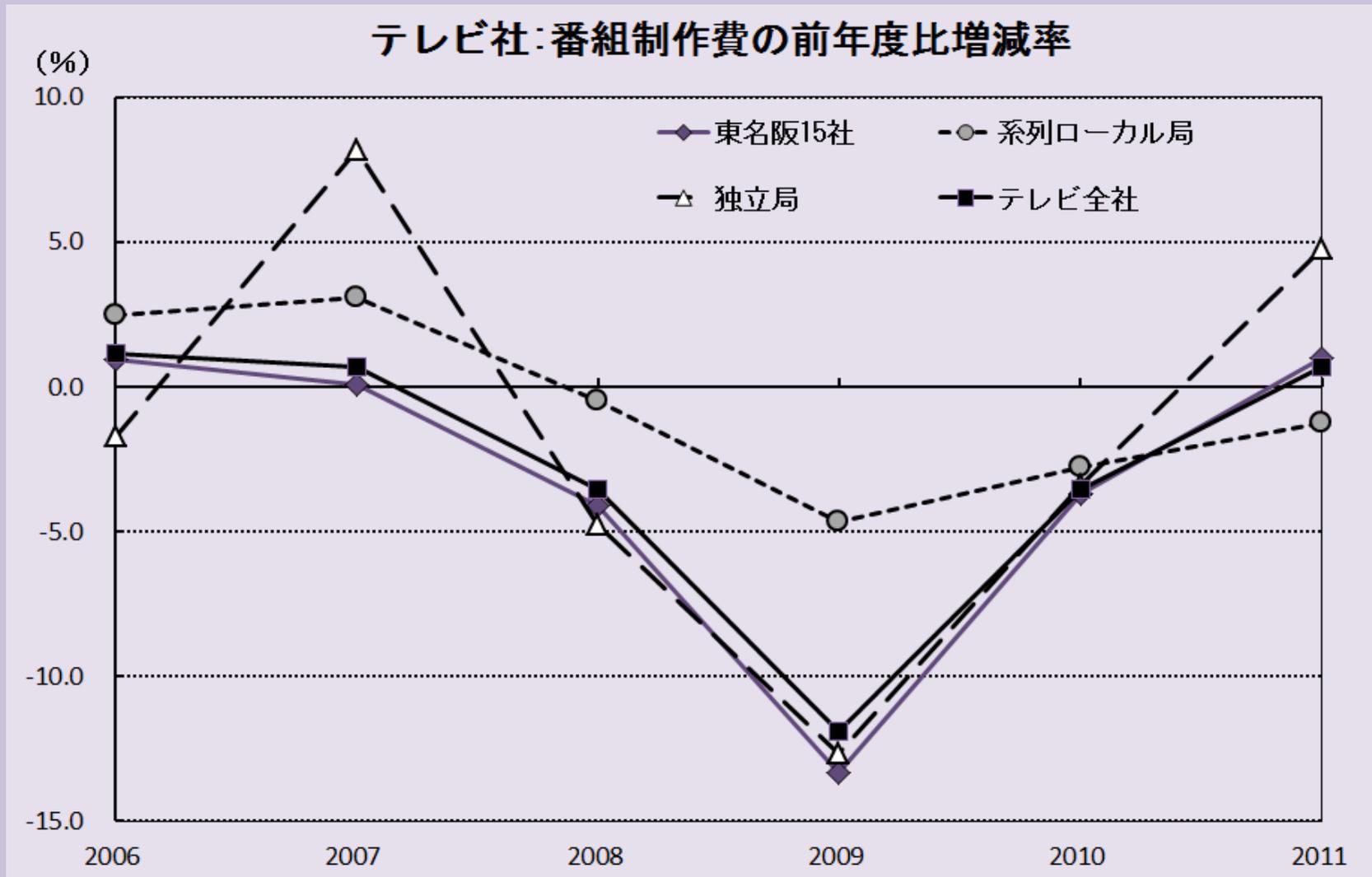
* 民放連「経営分析調査」より作成。

付加価値率も低下傾向



*民放連「経営分析調査」より作成。

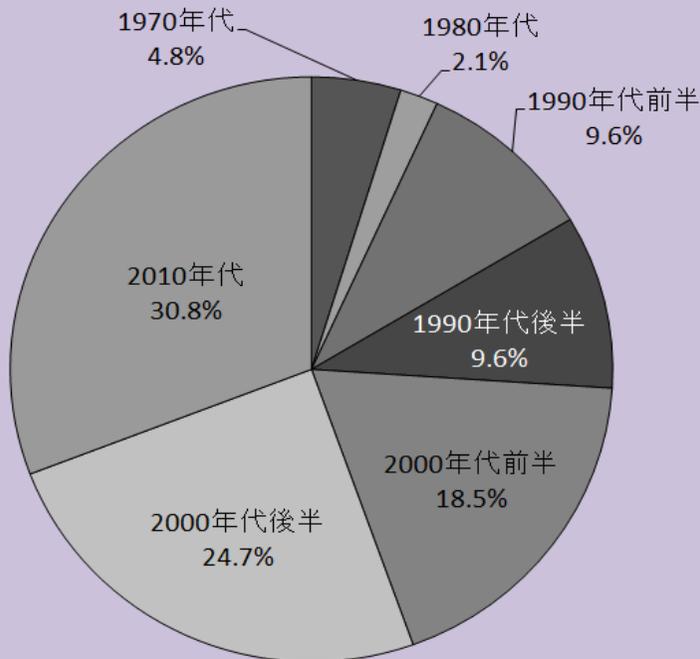
番組制作費は大幅減からプラスへ



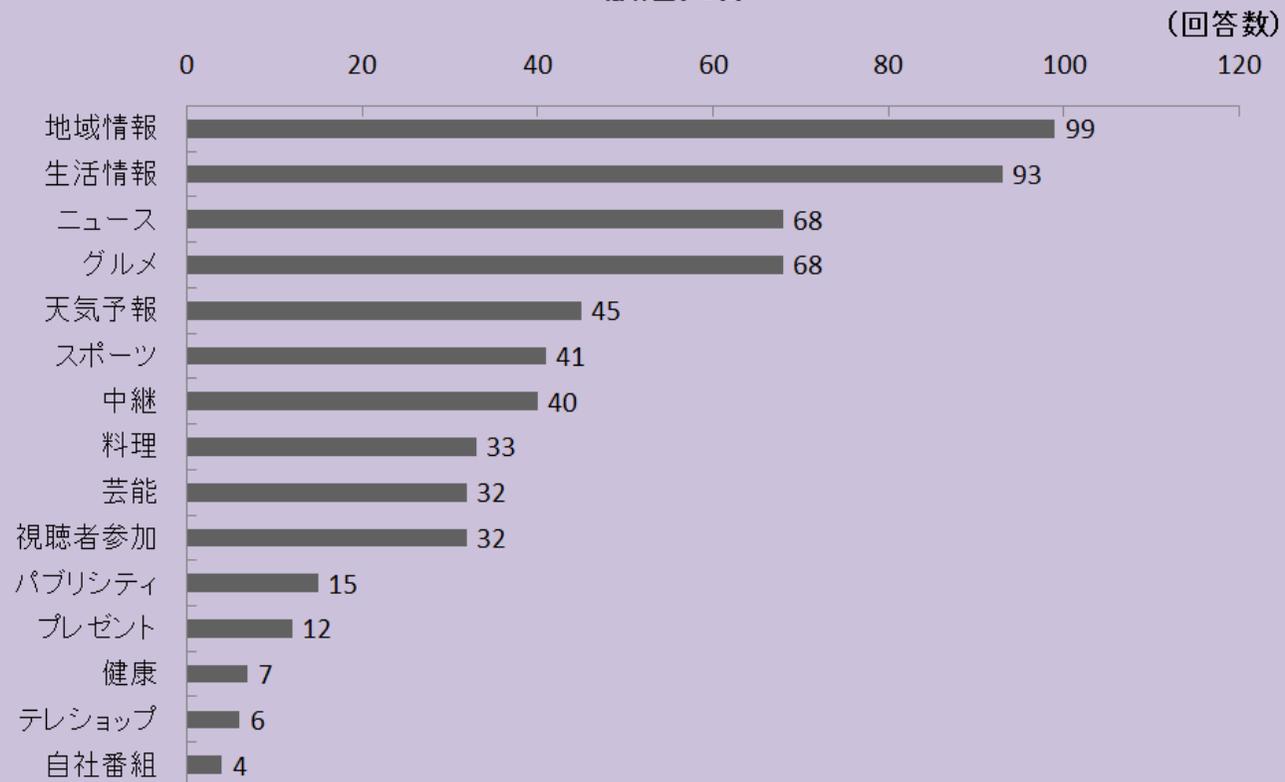
*民放連「経営分析調査」より作成。

2000年代に増えたテレビの ローカル情報番組

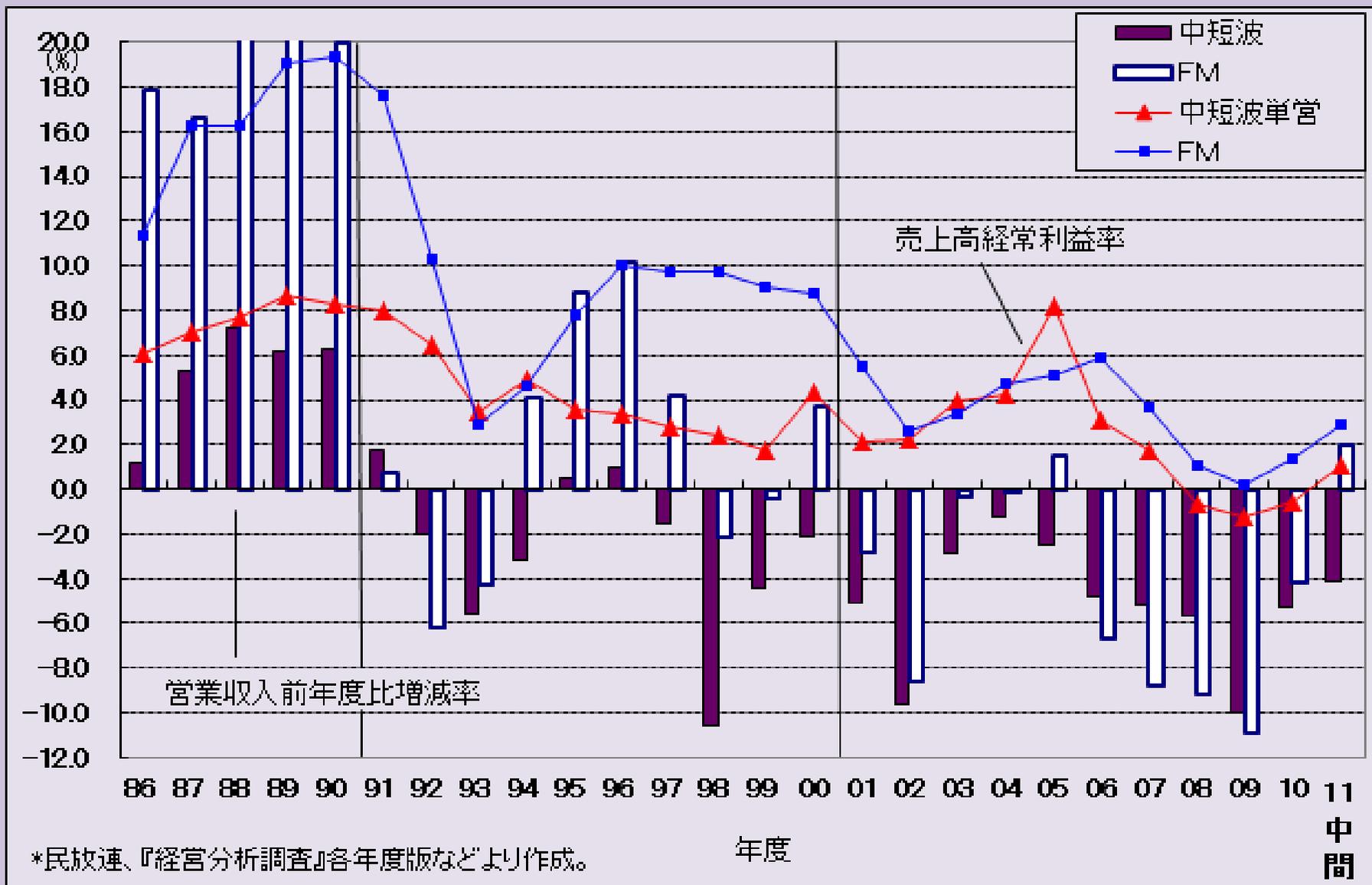
番組開始時期



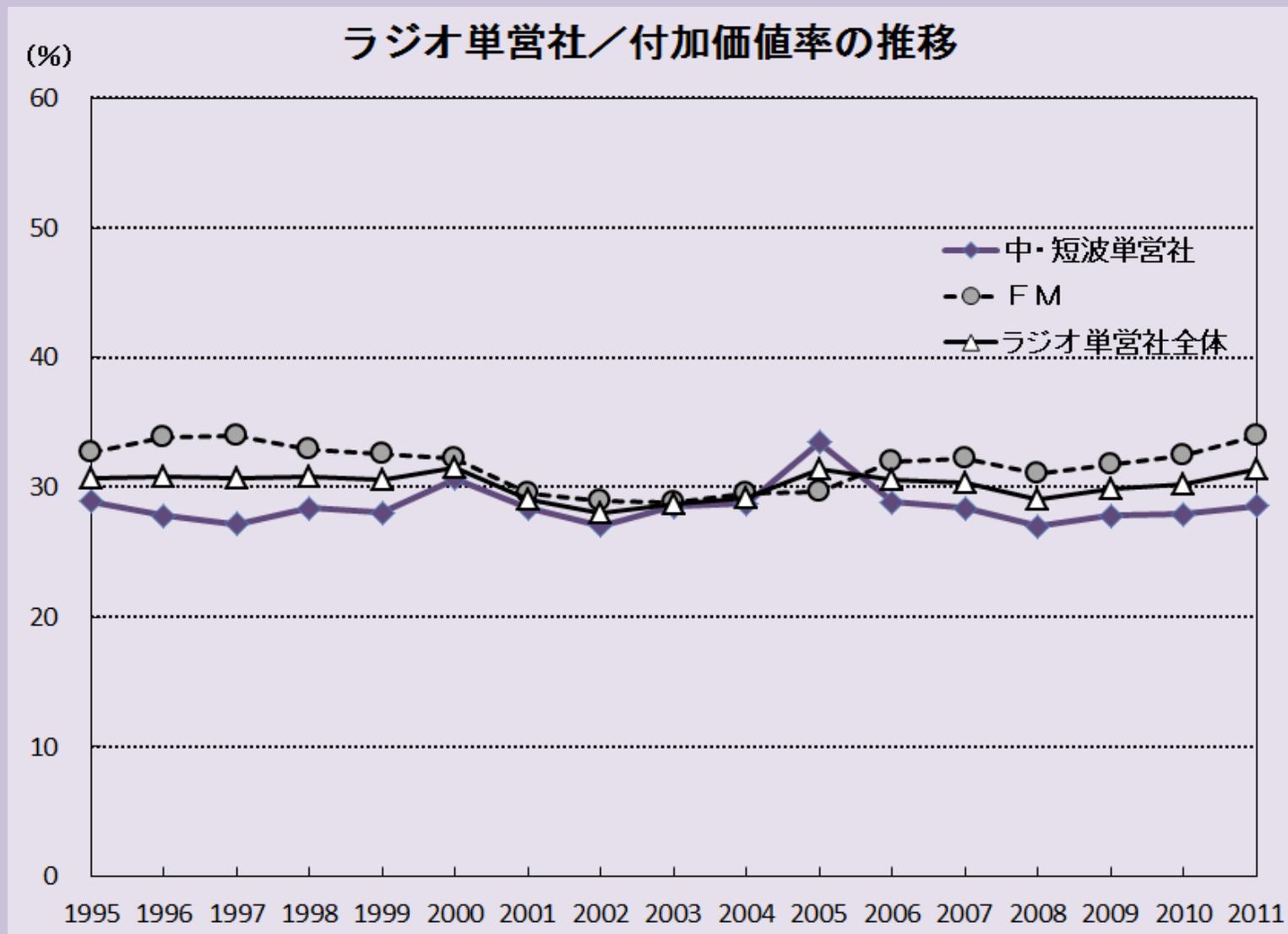
放送内容



中波の経常利益はほぼ0

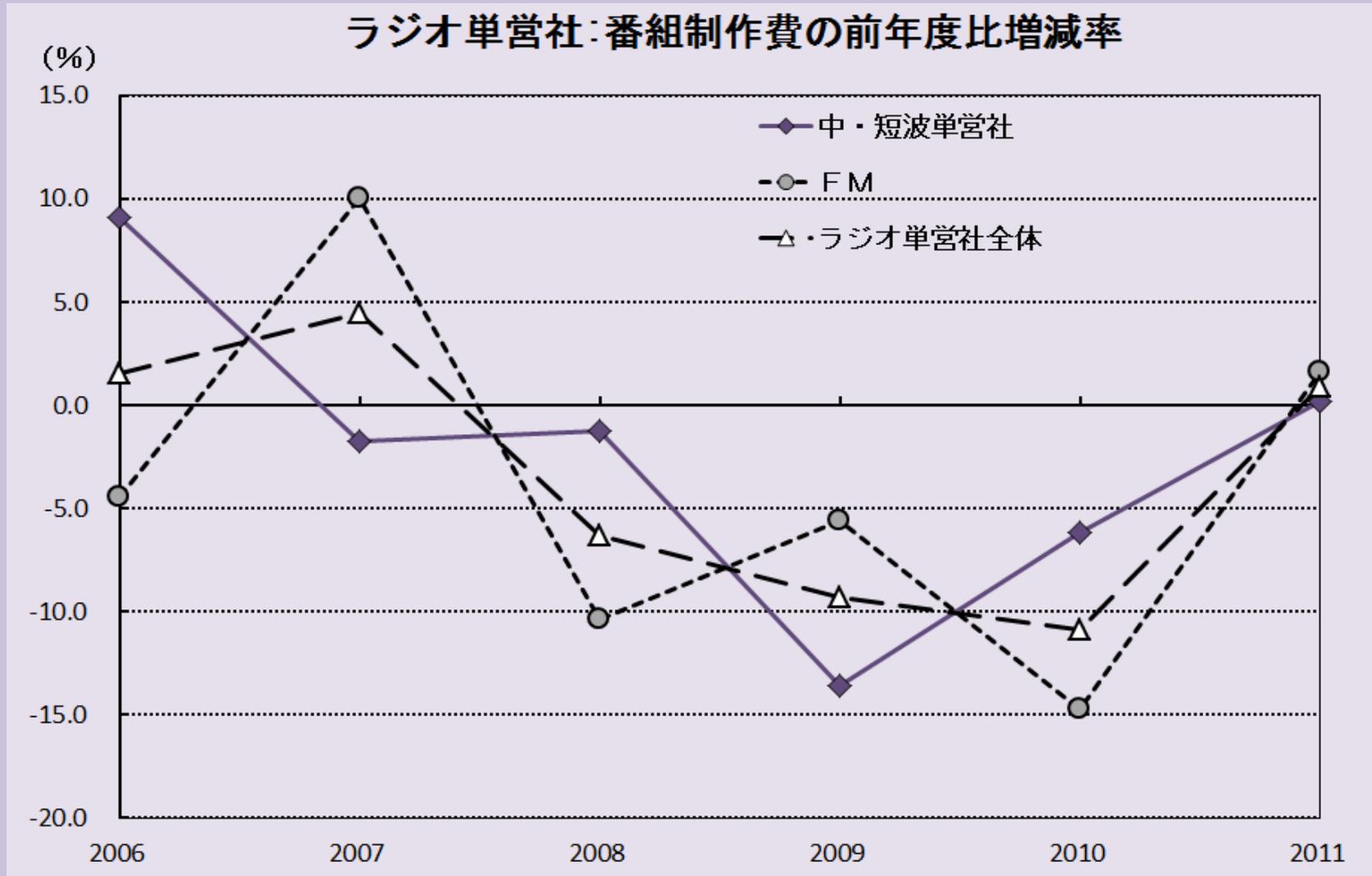


ラジオの付加価値率は一定



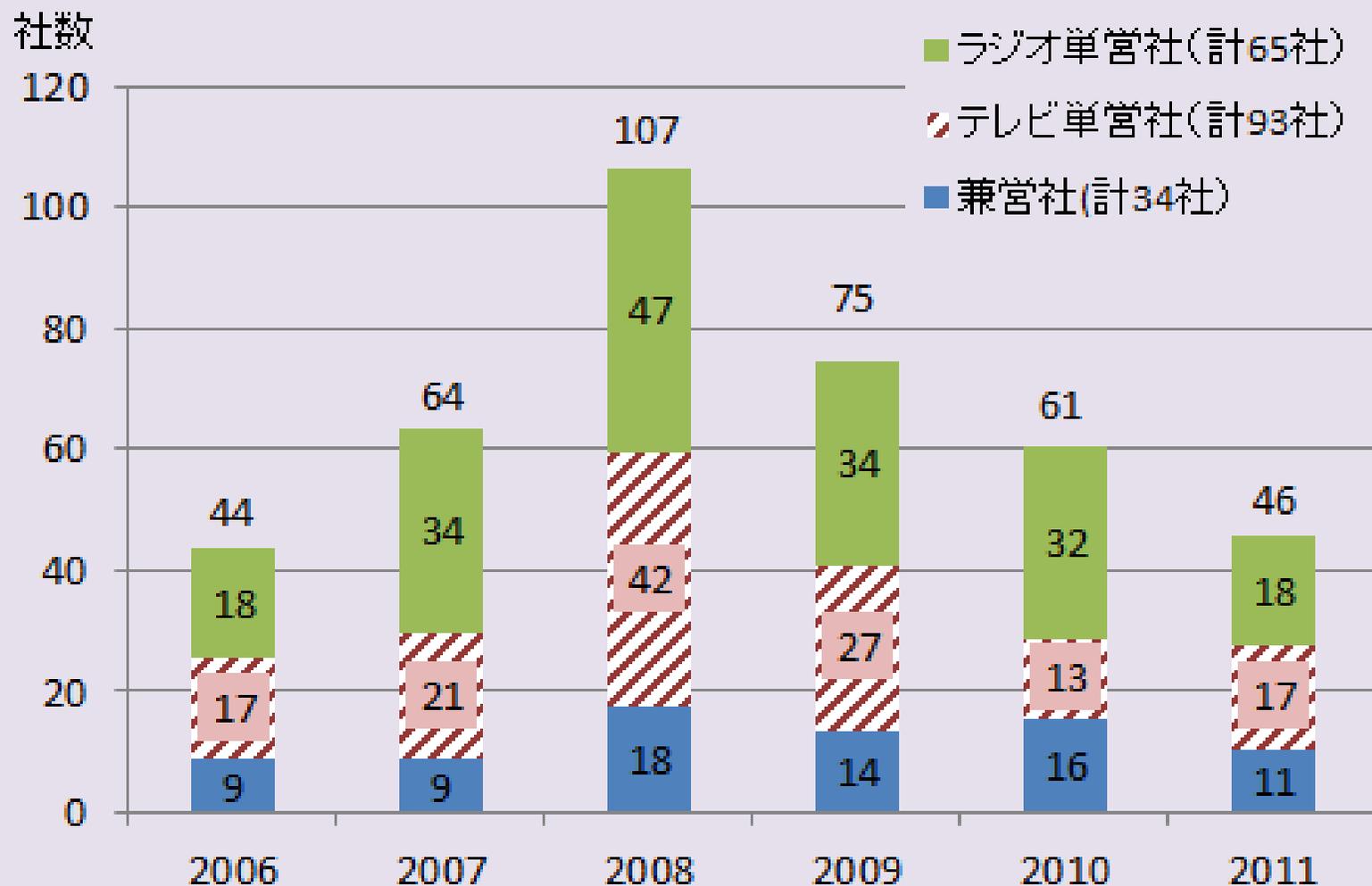
* 民放連「経営分析調査」より作成。

ラジオ：制作費は増加へ？



* 民放連「経営分析調査」より作成。

損失計上社数推移(当期純損益)

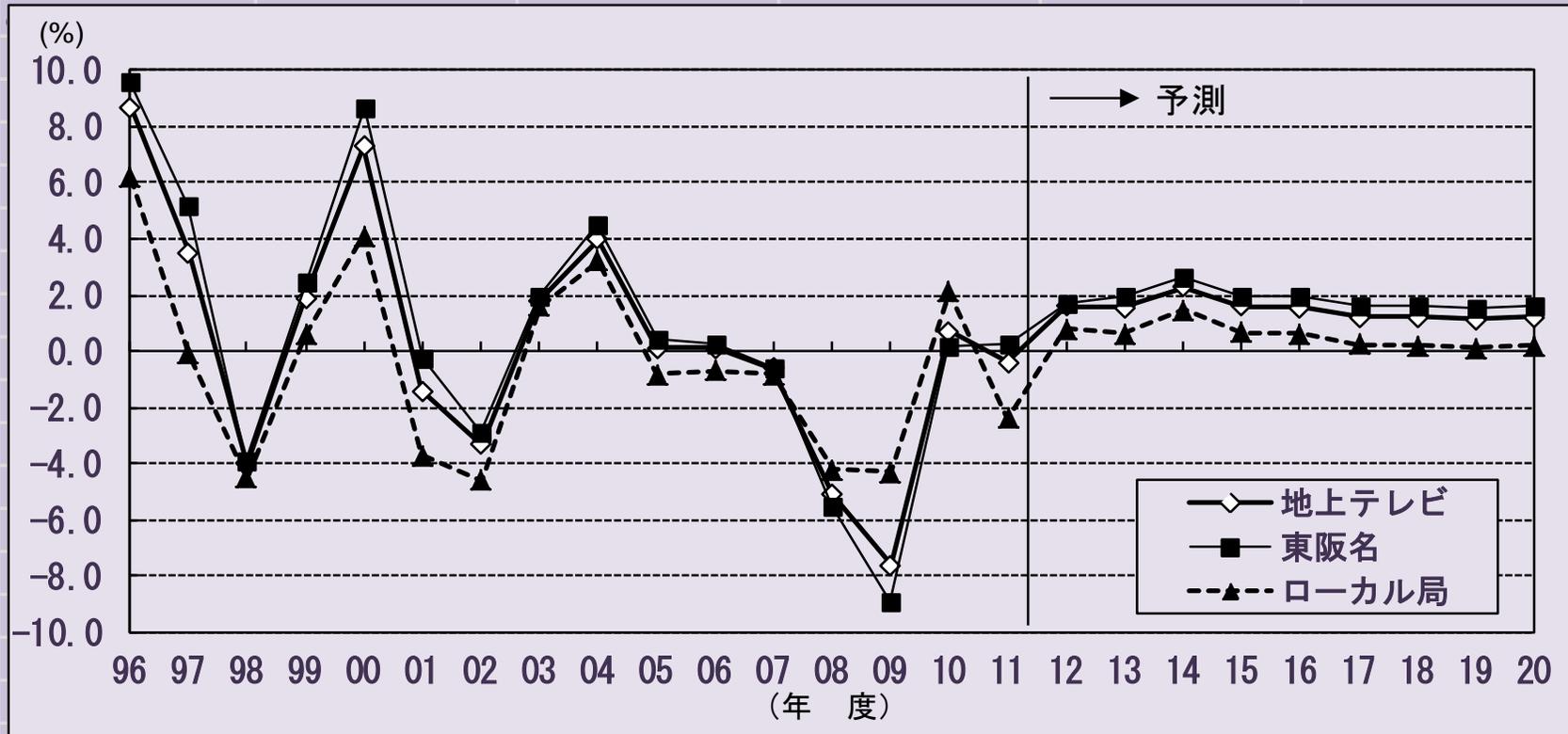


・民放連「経営分析調査」より作成。

Ⅲ. 中期的な将来見通し

テレビ：2020年まで微増傾向

地上波テレビ営業収入 前年度比伸び率の推移と予測



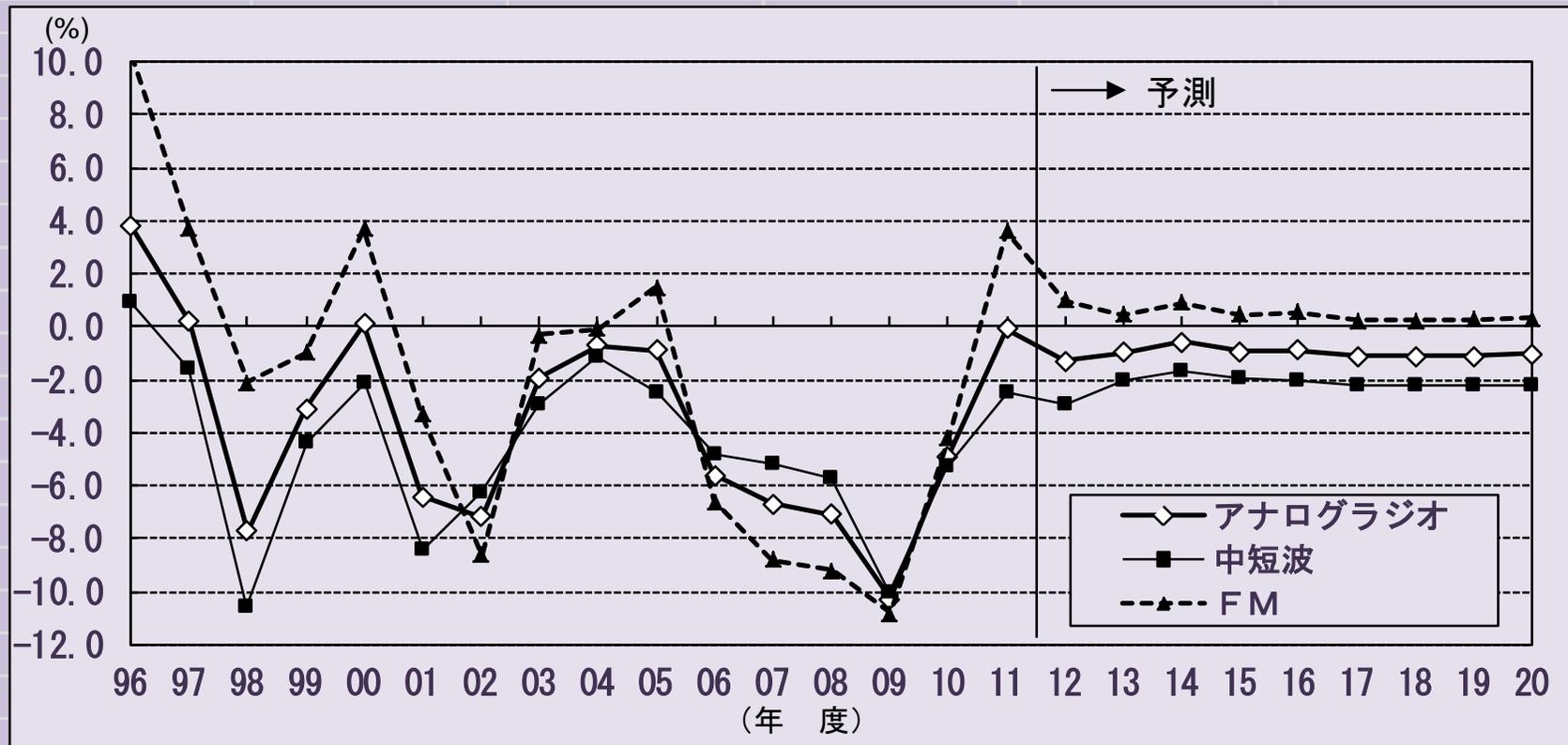
(年平均増減率：%)

年度	96-00	01-05	06-10	11-15	16-20
地上テレビ	3.5	0.2	-2.5	1.3	1.3
東阪名	4.4	0.8	-2.9	1.7	1.7
ローカル	1.3	-0.9	-1.6	0.2	0.3

*民放連研究所「2012～2020年度のテレビ、ラジオ営業収入中期見通し」より。

ラジオ：中短波は微減傾向継続か

地上波ラジオ営業収入 前年度比伸び率の推移と予測



(年平均増減率：%)

年 度	96-00	01-05	06-10	11-15	16-20
アナログラジオ*	-1.3	-3.4	-6.9	-0.8	-1.1
中短波	-3.6	-4.2	-6.2	-2.2	-2.2
F M	2.9	-2.2	-7.9	1.3	0.3

*デジタルラジオを含まないベース。コミュニティ放送を除く。

*民放連研究所「2012～2020年度のテレビ、ラジオ営業収入中期見通し」より。